

【第53回日本創傷治療学会】 研究奨励賞講演・一般演題・ポスター 採択演題一覧：セッション順  
 会場：軽井沢プリンスホテル ウェスト 会期：2023年11月21日（火）・22日（水）

セッション名	UMIN 登録番号	演題 番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
研究奨励賞講演	10003	RE-1	凍傷の創傷治癒過程における角化細胞のβ-catenin核内移行と機能解析	11月21日（火）	8:30~9:38	第2会場（浅間CD）
	10018	RE-2	加熱死菌Lactobacillus plantarumの創傷治癒促進過程におけるCARD9の関与			
	10072	RE-3	AMPKおよびRac1活性制御によるactin cable形成誘導と創傷治癒の促進			
	10025	RE-4	圧注入デバイスを用いた新規リンパ浮腫治療法の開発			
一般演題1「基礎研究」	10059	O1-1	高血糖フラットモデル全層欠損創傷への局所低周波振動刺激による細胞老化抑制効果の検証	11月21日（火）	10:30~11:34	第2会場（浅間CD）
	10049	O1-2	フレイバリオキソスの摂取が褥瘡に及ぼす影響とその分子メカニズムの解明			
	10061	O1-3	Delayed wound healing models reveal csf3 as a potential prognostic indicator of hard-to-heal wounds			
	10055	O1-4	ケラチナーゼによる創傷治癒関連タンパク質の分解に関する基礎的検討			
	10015	O1-5	マウス熱傷治癒過程におけるDectin-1およびCARD9依存的免疫応答の解析			
	10008	O1-6	ソボロフィンパブルを用いた創傷洗浄によるクテリカルコロネーション創傷の治癒促進			
	10022	O1-7	赤傷皮膚再生に向けた組織学的解析と作製の試み			
10051	O1-8	多血小板血漿（PRP）の新たな品質管理方法の開発				
一般演題2「再建外科関連創傷治癒」	10047	O2-1	口腔がん切除再建術後の感染を減少させるための当院の工夫	11月21日（火）	13:00~13:48	第2会場（浅間CD）
	10065	O2-2	当院における開眼手術後の皮膚潰瘍・瘻孔・壊死に対して施行した再建手術の検討			
	10054	O2-3	当院における外鼻皮膚癌悪性腫瘍摘出後の皮弁再建術に対する考察			
	10052	O2-4	我々の施設における外陰部壊死性筋膜炎の治療の現状			
	10063	O2-5	当院における過去13年間の坐骨神経痛治療と術式の検討			
	10041	O2-6	SSI予防におけるPREVENA切開創管理システムとペロローズレーンとの併用療法の有効性について			
一般演題3「褥瘡・肥厚性褥瘡・クロイド」	10020	O3-1	Scarless healing modelとしてのアラハライモを用いた熱傷モデルの作製	11月22日（水）	10:30~11:34	第2会場（浅間CD）
	10067	O3-2	口唇裂術後褥瘡に影響を与える患者要因の検討			
	10005	O3-3	褥瘡褥瘍モデルにおける脂肪由来幹細胞培養上清の治療効果			
	10031	O3-4	帝王切開術後の異常褥瘡発症は産後女性に高リスクと予測される。<OGOG project 1>			
	10019	O3-5	浅筋膜を含む生体中の皮下fasciaの構造 <OGOG project 2>			
	10062	O3-6	産婦人科医によるクロイド・肥厚性褥瘡予防のためのアラタス実践報告 -OGOG project 3-			
	10069	O3-7	初回帝王切開で発症したクロイドを同一産婦人科医が次回帝王切開で治療できた1例 <OGOG project 4>			
	10070	O3-8	産科医・助産師協働による帝王切開術後の創部管理指導の効果 <OGOG project 5>			
一般演題4「消化管の創傷治癒・SSI」	10010	O4-1	Open ulcer潰瘍を伴う早期褥瘡に対する潰瘍治療後創傷治癒と内視鏡的粘膜下層剥離術の検討	11月22日（水）	11:35~12:15	第2会場（浅間CD）
	10057	O4-2	食道癌に対し、近赤外線光クラブガイド下にロボット支援胸腔鏡下食道切除術を施行した2症例			
	10068	O4-3	消化管穿孔症例に対する予防的局所圧閉鎖療法との検討			
	10064	O4-4	消化器外科手術における手術切開創に対するインジクソ消毒の有効性			
	10048	O4-5	多職種によるSSIの振り返りと今後の課題			
一般演題5「創傷のアセスメントと周術期看護」	10066	O5-1	保存的治療により創部状態が改善し創部細菌叢が変化した静脈性下腿潰瘍の1例	11月22日（水）	13:40~14:20	第2会場（浅間CD）
	10050	O5-2	失禁関連皮膚炎の存在と陰部皮膚表面のウレラーゼ産生菌の検出率および生菌数との関連性			
	10013	O5-3	下部消化管穿孔術後のSSI患者をチームで介入し治療に繋がった症例			
	10012	O5-4	当院手術部におけるSDGsへの取り組み～バイオマス成分のテープ付きドレープを導入して皮膚を守る～			
	10028	O5-5	術後の創傷管理におけるケア標準化の取り組み			
一般演題6「症例報告」	10006	O6-1	重症化した淡水エイズ創傷の一例～海水エイズと比較して見えてきた淡水エイズの脅威～	11月22日（水）	14:20~15:16	第2会場（浅間CD）
	10042	O6-2	疼痛改善にレオカナが有効であった包括的高度慢性下肢虚血の2例			
	10044	O6-3	患指を温存し得た塗料による母指高圧注入損傷の1例			
	10036	O6-4	指小切創から急速に進行し、指の断端形成術により救命した壊死性筋膜炎の1例			
	10053	O6-5	3度熱傷に対する人工真皮サンドワッチ法について			
	10060	O6-6	幼児の熱傷に対しRECELLを用いて治療を行った1例			
	10034	O6-7	再上肢熱傷に対して自家細胞懸濁液と超音波デリバードマン装置を使用した1例の経験			
ポスター1「創傷治癒のプロセスとメカニズム」	10033	P1-1	角膜炎創傷治癒におけるHAS2の影響	11月21日（火）	14:15~14:45	ポスター会場（観）
	10046	P1-2	マウス深部静脈血栓溶解過程におけるCCCL5/CCR5システムの役割			
	10014	P1-3	2型糖尿病db/dbマウスの皮膚創傷における炎症性サイトカインの発現変動			
	10011	P1-4	Batroxobinが皮膚創傷治癒過程に与える影響—マウスモデルとヒトケラチノサイト株による検証—			
	10017	P1-5	乳酸菌Enterococcus faecalis KH2が急性創傷治癒に与える影響～単回投与と連日投与による効果の比較～			
ポスター2「物理的創傷治癒・その他」	10024	P2-1	運動によるM2マクロファージの増加が創傷治癒を促進する	11月21日（火）	14:15~14:45	ポスター会場（観）
	10030	P2-2	振動圧刺激とYIGSR-NH2は細胞間接着力を高めて治癒を加速する			
	10027	P2-3	マウスS1Pr3欠損によるレーザー誘発CNVの成長抑制は、S1Pr2阻害薬の全身投与によって増強されない。			
	10016	P2-4	フラット褥瘡モデルに対するEnterococcus faecalis KH2株局所投与の効果			
	10056	P2-5	マウス熱傷モデル作成方法と経時的治癒過程			
ポスター3「症例報告」	10002	P3-1	膀胱に及び背部DTILにボキサニド・ベタイン含有創傷被覆材と銀含有創傷被覆材併用で良好な結果を得た1例	11月21日（火）	14:15~14:45	ポスター会場（観）
	10043	P3-2	OTSC（Over-The-Scope-Clip）で治療困難であった難治性胃腸閉鎖不全に対する治療戦略			
	10009	P3-3	治癒に時間を要した石灰沈着を伴う褥瘡			
	10032	P3-4	ストーマで連結する近接部難治性潰瘍に対し、NPWTが有効な1例			
	10045	P3-5	がん転移を原因とした持続的便失禁で肛門周囲に生じたPEHが治癒に至った、在宅看護の一例			